

令和3年度 歯科衛生学科第3学年シラバス

◆基礎分野

page

倫理学	1
-----	---

◆専門基礎分野

保健福祉行政	3	社会福祉論	4
--------	---	-------	---

◆専門分野

う蝕予防処置法	5	歯周病予防処置法	7	口腔保健管理法	9
保健指導法(行動科学)	10	栄養指導法	12	歯科診療補助法	14
インプラント歯科診療補助法	15	救急蘇生法	16	病院等臨床実習	17
臨地実習	18				

◆選択必修分野

研究	19	接遇	20	特別講義①	21
特別講義②	22	隣接医学	23	総合講義	24

第3学年 倫理学

時間数	30時間（2時間×15回）
担当者	教養教育センター 人間科学科(哲学分野) 教授 遠藤寿一
一般目標	生命倫理学が扱う問題の本質を理解し、対立する諸見解を整理して、説得力のある解決法を自分の視点から構築できるようにする。
成績評価	筆記試験(80点)+平常点(20点)=100点
参考書	村松・松島編「教養としての生命倫理」(丸善出版) 村上喜良著「基礎から学ぶ生命倫理学」(勁草書房) 医療倫理Q&A刊行委員会著「歯科医療倫理Q&A」(太陽出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	28	火	1	遠藤	生命倫理学の誕生	・生命倫理学誕生の経緯を説明できる。
2	9	28	火	2	遠藤	安楽死(1)	・安楽死の現状を説明できる。
3	10	19	火	1	遠藤	安楽死(2)	・安楽死の倫理的問題点を指摘できる。
4	10	19	火	2	遠藤	安楽死(3)	・安楽死の今後を展望する。
5	11	2	火	1	遠藤	移植医療(1)	・脳死移植の内容を説明できる。
6	11	2	火	2	遠藤	移植医療(2)	・移植医療の問題点を指摘できる。
7	11	9	火	1	遠藤	移植医療(3)	・移植医療の今後を展望する。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
8	11	9	火	2	遠藤	生殖医療(1)	・生殖医療の現状を説明できる。
9	11	16	火	1	遠藤	生殖医療(2)	・生殖医療の問題点を指摘出来る。
10	11	16	火	2	遠藤	生殖医療(3)	・生殖医療の今後を展望する。
11	11	30	火	1	遠藤	人工妊娠中絶(1)	・人工妊娠中絶の現状を説明できる。
12	11	30	火	2	遠藤	人工妊娠中絶(2)	・人工妊娠中絶の問題点を指摘できる。
13	12	7	火	1	遠藤	人工妊娠中絶(3)	・人工妊娠中絶の今後を展望する。
14	12	7	火	2	遠藤	優生思想	・優生思想の問題点を指摘できる。
15	12	14	火	1	遠藤	定期試験	

第3学年 保健福祉行政

時間数	15時間 (2時間×8回)
担当者	歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 助教 大石 泰子 歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 非常勤講師 杉浦 剛
一般目標	歯科衛生士として適切な業務ができるために、衛生行政の制度、法規について理解する。
成績評価	定期試験により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本 「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 歯科衛生士と法律・制度」
参考書	「国民衛生の動向」(厚生統計協会) 「歯科保健関係統計資料」(口腔保健協会) 歯科衛生士書き込み式学習ノート②社会歯科系科目編(医歯薬出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	30	木	1	大石	衛生行政の目的 衛生行政の組織 (四. IX-1-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 衛生行政組織を概説する。 保健所の設置基準と業務を説明する。 市町村保健センターの役割を説明する。
2	10	14	木	1	大石	厚生関係統計調査1 国民の健康状態と受療状況1 (四. IX-3-C VI-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> 国の行う保健統計調査と厚生関係統計を理解する。 国民の健康と疾病の状況を理解する。
3	10	21	木	1	大石	厚生関係統計調査2 国民の健康状態と受療状況2 (四. IX-3-C VI-4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科保健関係統計を列挙する。 歯科疾患実態調査の概要を説明する。
4	11	11	木	1	大石	医療施設 保健医療従事者 (四. IX-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 医療施設と保健医療従事者の現状を理解する。 他の保健医療職種とその役割を列挙する。
5	11	11	木	3	杉浦	法制概論 歯科衛生士法1 (四. IX-2-A・B 五. I-2-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 法の概念と種類を理解する。 歯科衛生士法の目的、および歯科衛生士の定義、業務、法的責務を理解する。
6	11	11	木	4	杉浦	歯科衛生士法2 医療関係者に関する法律 (四. IX-2-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科衛生士法の目的、および歯科衛生士の定義、業務、法的責務を理解する。 医師法、歯科医師法、歯科技工士法、保健師・助産師・看護師法などの概要について学習し、歯科衛生士法との関係を理解する。
7	11	18	木	3	杉浦	医療法 薬事関係法 地域保健関係法 (四. IX-2-F~H) 社会保障関係法 (四. IX-4-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科衛生士の業務にかかわる関係法規を理解する。
8	12	9	木	2	大石 杉浦	定期試験	

第3学年 社会福祉論

時間数	16時間（2時間×8回）
担当者	岩手医科大学附属病院医療福祉相談室 医療ソーシャルワーカー 後藤 涼太 岩手医科大学附属病院医療福祉相談室 医療ソーシャルワーカー 齋藤 有香
一般目標	福祉高齢社会を迎え、歯科衛生士の業務は、本来の歯科診療補助はもとより、行政関係者、学校関係者、介護関係者との連携が求められている。 歯科衛生士として、保健医療に従事するためには、社会保障制度の目的および各制度の内容について理解する必要がある。そこで、この講義では社会保障の成り立ちと目的を学ぶとともに、現行の社会福祉制度・社会保険制度の概要について習得する。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本 「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 歯科衛生士と法律・制度」
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	27	月	1	後藤	社会保障制度 1) 社会保障制度のなりたち 2) 社会保障の目的と機能 3) ライフサイクルにおける 社会保障制度 4) 世界の社会保障制度 (四. IX-4-A)	・社会保障制度の概要を理解する。 ・社会保障制度の目的・機能・分類について説明できる。
2	10	11	月	1	齋藤	社会福祉 1 1) 社会福祉の沿革 2) 社会福祉行政の組織 3) 生活保護制度 (四. IX-4-G~K)	・社会福祉制度の概要を理解する。 ・公的扶助(生活保護)の概略について説明できる。
3	10	18	月	1	後藤	社会福祉 2 1) 児童と家庭の福祉 (四. IX-4-I)	・児童と家庭の福祉制度の概要を説明できる。
4	10	25	月	1	齋藤	社会福祉 3 1) 障害者の福祉 (四. IX-4-J)	・障害者の福祉制度の概要を説明できる。
5	11	2	火	4	後藤	社会福祉 4 1) 老人の福祉と保健 (四. IX-4-K)	・高齢者の福祉制度の概要を説明できる。
6	11	9	火	4	齋藤	社会保険 1 1) 社会保険の沿革 2) 社会保険行政の組織 3) 医療保険 (四. IX-4-A~C)	・社会保険制度の概略を説明できる。 ・医療保険の概略および種類・給付内容等について説明できる。
7	11	16	火	4	後藤	社会保険 2 1) 介護保険 (四. IX-4-F)	・介護保険の概略と種類給付内容等を説明できる。
8	11	22	月	2	齋藤	社会保険 3 1) 年金保険 2) 労働保険 (四. IX-4-D・E)	・年金保険の概略と種類給付内容等を説明できる。 ・雇用保険および労働者災害補償保険制度の概要を説明できる。
	12	8	水	2	後藤 齋藤	定期試験	

第3学年 う蝕予防処置法

時間数	38時間（2時間×19回）
担当者	教員 鳥畑美香 非常勤講師
一般目標	歯科衛生士が歯科臨床の現場で行うう蝕予防の処置について、安全かつ適確な操作方法を習得する。また対象に応じたう蝕予防処置プログラムの立案について習熟する。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」（医歯薬出版株式会社）
参考書	「新フッ化物ではじめるむし歯予防」（医歯薬出版株式会社）

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1・2	4	14	水	1・2	鳥畑 非常勤講師	第3・4実習室	小窩裂溝填塞法 (学生相互実習) 1)ラバーダム防湿 2)小窩裂溝填塞 (七.Ⅲ-4-A~D 九.Ⅲ-1-A)	・小窩裂溝填塞を適確な操作及び共同動作ができる。
3・4	5	17	月	1・2	鳥畑 非常勤講師	第3・4実習室	フッ化物歯面塗布法 (学生相互実習) 1)トレー法(マウスピース) (ゲル) (四.Ⅲ-3-F 七.Ⅲ-3-A~C)	・フッ化物歯面塗布法溶液を安全に実施できる。 ・フッ化物塗布後の術後指導ができる。
5	11	15	月	3	鳥畑	第3講義室	う蝕活動性試験 1)う蝕活動性試験の実際 2)う蝕予防プログラム (四.Ⅰ-4-A、Ⅲ-1-E 七.Ⅲ-2-A・B)	・う蝕活動性試験の条件および検体と評価項目を説明できる。 ・相互実習の内容を把握し、判定結果に対する予防プログラムの立案方法を理解できる。
6・7・8	11	17	水	1・2・3	鳥畑 非常勤講師	第3・4実習室	う蝕活動性試験 1)RDテスト 2)口腔内診査 3)う蝕原因菌酸産生能測定 4)唾液分泌量測定 5)唾液緩衝能測定 6)SM・LB菌数測定 7)プラーク蓄積量測定 8)生活習慣調査 (2回目:再評価) (四.Ⅰ-4-A、Ⅲ-1-E 七.Ⅰ-2-A、 Ⅲ-2-A・B)	・う蝕活動性試験を実施できる。
9	11	22	月	1	鳥畑	実験室 第3講義室	う蝕活動性試験 1)培養結果の判定(LB) 2)再評価 (四.Ⅰ-4-A、Ⅲ-1-E 七.Ⅲ-2-A・B)	・う蝕活動性試験の判定結果を比較しカリエスリスクの変化を評価できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
10	11	24	水	3	鳥畑	第3講義室	う蝕活動性試験 1)う蝕予防プログラム立案 2)考察、まとめ (四. I-4-A、III-1-E 七. III-2-A・B)	・学生各自のう蝕予防プログラムの実践結果を判定しカリエスリスクの変化を説明できる。
11	11	24	水	4	鳥畑	第3講義室	う蝕予防処置総論 1)う蝕予防の種類と目的 2)フッ化物応用 3)フッ化物の安全性 (四. III-3-C~F、 七. I-1-A・C、 III-3-A~C、5-A~D)	・う蝕予防処置の法的位置づけを理解し種類を説明できる。 ・フッ化物応用時の安全の配慮ができるよう、フッ化物の量を計算できる。
12 ・ 13	11	25	木	3 ・ 4	鳥畑	第3講義室 第2実習室	小窩裂溝填塞法 1)小窩裂溝填塞材の種類 2)適応症 3)術式および注意事項 (七. III-4-A~D)	・小窩裂溝填塞材の種類と特徴、適応症、術式および実施上の注意事項を説明できる。
14	11	30	火	4	鳥畑	第3講義室	フッ化物洗口法 1)集団のフッ化物洗口 2)洗口液の調整 3)フッ化物洗口法と洗口後の指導 (四. III-3-F 七. III-5-A~D)	・集団に対するフッ化物洗口を想定し、その流れや洗口液の調整方法、注意点を理解できる。 ・適切な術後指導ができる。
15 ・ 16	12	1	水	1 ・ 2	鳥畑	第3講義室	フッ化物洗口法 1)集団のフッ化物洗口の実施 (四. III-3-F 七. III-5-A~D)	・集団に対するフッ化物洗口を想定し、その流れや洗口液の調整方法、注意点を理解し実施できる。 ・適切な術後指導ができる。
17 ・ 18 ・ 19	12	3	金	1 ・ 2 ・ 3	鳥畑 非常勤講師	第3・4実習室	フッ化物歯面塗布法 (学生相互実習) 小窩裂溝填塞の経過観察 (四. III-3-F 七. III-3-A~C、4-A~D)	・対象者に合わせ、フッ化物製剤と塗布法を選択し、フッ化物歯面塗布を実施することができる。 ・小窩裂溝填塞後の経過観察ができる。 ・適切な術後指導ができる。
	12	13	月	1	鳥畑	第3講義室	定期試験	

第3学年 歯周病予防処置法

時間数	60時間（2時間×30回）
担当者	教員 太田彩香 非常勤講師
一般目標	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持、増進させるために必要な専門的知識、技術および態度を習得する。
成績評価	筆答(90%)と実習態度(10%)により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1 ・ 2 ・ 3	4	6	火	1 ・ 2 ・ 3	太田 非常勤講師	第3・4実習室	歯周病予防処置法実技／学生相互実習 1 1)超音波スケーラー 2)歯面清掃器 3)エアスケーラー 4)サスブラシ [®] 5)歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・学生相互の口腔内において手用スケーラー以外による各種器械の取扱い及びスケーリング、歯面研磨操作ができる。
4 ・ 5 ・ 6	4	7	水	1 ・ 2 ・ 3	太田 非常勤講師	第3・4実習室	歯周病予防処置法実技／学生相互実習 2 1)超音波スケーラー 2)歯面清掃器 3)エアスケーラー 4)サスブラシ [®] 5)歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・学生相互の口腔内において手用スケーラー以外による各種器械の取扱い及びスケーリング、歯面研磨操作ができる。
7	4	8	木	4	太田	第1実習室	拡大鏡の使用法 (四. II-1-B、 七. II-2-A)	・拡大鏡の使用法を正しく理解し、適切に装着できる。 ・拡大鏡を装着し、安全にプロービング、PMTCを行うことができる。
8 ・ 9 ・ 10	4	9	金	1 ・ 2 ・ 3	太田 非常勤講師	第3・4実習室	歯周基本治療／学生相互実習 ①上顎前歯部 1)歯周組織検査 2)SRP 3)歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・指示部位に対して歯周組織検査から歯面研磨まで一連の流れを実施できる。
11 ・ 12 ・ 13	4	13	火	1 ・ 2 ・ 3	太田 非常勤講師	第3・4実習室	歯周基本治療／学生相互実習 ②下顎前歯部 1)歯周組織検査 2)SRP 3)歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・指示部位に対して歯周組織検査から歯面研磨まで一連の流れを実施できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
14 ・ 15 ・ 16	5	10	月	1 ・ 2 ・ 3	太田 非常勤講師	第3・4実習室	歯周基本治療／学生相互実習 ③下顎右側臼歯部 1) 歯周組織検査 2) SRP 3) 歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・指示部位に対して歯周組織検査から歯面研磨まで一連の流れを実施できる。
17 ・ 18	6	14	月	3 ・ 4	太田	第3講義室	歯周病におけるメンテナンス (七. II-6-A・B)	・歯周病におけるメンテナンスの目的を説明できる。 ・メンテナンス時の評価項目と方法、処置について説明できる。 ・歯周病のリスクとメンテナンスの必要性を説明できる。
19 ・ 20	9	6	月	1 ・ 2	太田	第1実習室	手用スケーラーのシャープニング 1) キュレットスケーラー 2) 鎌型スケーラー (七. II-4-C)	・各スケーラーの刃部の形態を説明できる。確実なシャープニング操作及びカッティングエッジの切れ味の確認操作ができる。
21 ・ 22 ・ 23	9	22	水	1 ・ 2 ・ 3	太田 非常勤講師	第3・4実習室	歯周基本治療／学生相互実習 ④下顎左側臼歯部 1) 歯周組織検査 2) SRP 3) 歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・指示部位に対して歯周組織検査から歯面研磨まで一連の流れを実施できる。
24	9	29	水	1	太田	第3講義室	偶発事故 1) 術者側の偶発事故 2) 患者側の偶発事故 (五. I-5-A)	・歯周病予防処置時に起こり得る偶発事故とその予防方法について説明できる。
25 ・ 26 ・ 27	10	8	金	1 ・ 2 ・ 3	太田 非常勤講師	第3・4実習室	歯周基本治療／学生相互実習 ⑤上顎左側臼歯部 1) 歯周組織検査 2) SRP 3) 歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・指示部位に対して歯周組織検査から歯面研磨まで一連の流れを実施できる。
28 ・ 29 ・ 30	10	20	水	1 ・ 2 ・ 3	太田 非常勤講師	第3・4実習室	歯周基本治療／学生相互実習 ⑥上顎右側臼歯部 1) 歯周組織検査 2) SRP 3) 歯面研磨 (七. II-2-A、 4-A・B、5-A)	・指示部位に対して歯周組織検査から歯面研磨まで一連の流れを実施できる。
	12	10	金	2	太田	第3講義室	定期試験(筆答)	

第3学年 口腔保健管理法

時間数	15時間 (2時間×8回)
担当者	教務主任 鈴木奈津子
一般目標	口腔の健康管理を行うために歯科予防処置論、歯科保健指導論を総合的にとらえ実践できる知識・態度・技術を身につける。
成績評価	提出物(50%)と筆答(50%)により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	30	木	3	鈴木	生活習慣の指導 1) 非感染性疾患(NCDs) (五. I-3-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> • NCDsの種類と特徴および口腔との関連を説明できる。 • NCDsの症例に合わせた歯科保健指導ができる。
2	10	14	木	3	鈴木	生活習慣の指導 2) 喫煙者に対する指導 (五. I-3-A・B 七. II-2-A~C・E・F、5-A 八. III-2-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> • 日本人の喫煙状況を説明できる。 • 喫煙と関係のある口腔疾患および症状について説明できる。 • 喫煙状況のアセスメントができる。 • 禁煙指導と支援ができる。
3	11	4	木	3	鈴木	大規模災害時の歯科保健活動 1) 大規模災害被災者の特徴 2) 大規模災害被災時の 歯科保健活動 七. II-2-A~C・E・F、6-A 八. III-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> • 大規模災害被災者の特徴を説明できる。 • 大規模災害時の歯科保健活動について説明できる。
4 5 6	11	10	水	1 ・ 2 ・ 3	鈴木	模擬症例による歯科衛生過程の展開① 1) 歯科衛生アセスメント 2) 歯科衛生診断 3) 歯科衛生計画立案 (五. I-3-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> • 模擬症例を使用した歯科衛生過程の展開ができる。
7 ・ 8	11	15	月	1 ・ 2	鈴木	模擬症例による歯科衛生過程の展開② 4) 介入 5) 業務記録	<ul style="list-style-type: none"> • SOAPを用いた業務記録を適切に記載することができる。
	12	13	月	2	鈴木	定期試験(筆答)	

第3学年 保健指導法（行動科学）

時間数	45時間（2時間×23回）
担当者	歯学部 口腔医学講座(予防歯科学分野) 教授 岸 光男 教養教育センター人間科学科(心理学・行動科学分野) 教授 相澤 文恵 教務主任 鈴木 奈津子
一般目標	健康教育における行動科学の位置付けを確認するとともに、保健行動の基本的理論を理解し、各種の理論を実際の保健指導に応用する基礎を作る。
成績評価	筆答、実習評価、提出物により総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版) 「医療における社会行動科学2021」
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	27	月	3	相澤	医療における行動科学 (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> 医療における行動科学の位置づけを理解する。 さまざまな健康観について理解する。
2	9	27	月	4	相澤	行動や生活様式と健康・病気 (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> 健康と行動の関連性を理解する。 ソーシャルサポートについて理解する。 健康教育の概念と歴史について理解する。
3	10	7	木	3	相澤	保健行動論(1) 保健行動に関わる社会的要因 (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> 保健行動の種類を理解する。 保健行動に関わる社会的要因について理解する。
4	10	7	木	4	相澤	保健行動論(2) 保健行動のモデル (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> KAPモデルについて理解する。 自己効力感について理解する。 ヘルス・ビリーフ・モデルについて理解する。
5	10	11	月	3	相澤	保健行動論(3) 保健行動に関わる心理的要因 (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ローカス・オブ・コントロールについて理解する。 ストレスとコーピングについて理解する。 フレーミング効果について理解する。 計画的行動理論について理解する。
6	10	11	月	4	相澤	保健行動論(4) 総合的協働型健康づくり (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> プリシード・フレームワークについて理解する。 プリシード・プロシード・モデルについて理解する。
7	10	18	月	3	相澤	保健行動論(5) エンパワーメント教育 (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> エンパワーメント教育について理解する。 トランス・セオレティカル・モデルについて理解する。

回数			曜日	時 限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
8	10	18	月	4	相澤	ライフスキル教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスキル教育について理解する。 ・セルフエスティームについて理解する。
9	10	25	月	3	相澤	カウンセリングの基礎 (五. I-3-A、 八. I-2-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの基礎について理解する。 ・非指示的カウンセリングについて理解する。 ・受容と共感について理解する。
10	10	25	月	4	相澤	ヘルスコミュニケーション (八. I-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスコミュニケーションについて理解する。 ・解釈モデルについて理解する。
11	10	28	木	1	岸	プライマリ・ケアと医療情報管理 (五. I-3-A~E、 八. II-1-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導で適切な情報収集を行うため、対象疾患の特性と対処法の原則を習得する。
12	10	28	木	2	岸	POSとPOMR メディカルインタビューの基礎 (五. I-3-F)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導で適切な指導記録を作成するため、POSにもとづくPOMR作成方法を習得する。
13	11	4	木	1	岸	患者立脚型評価とQOL(1) (五. I-3-E・F)	<ul style="list-style-type: none"> ・クライアントから満足を得る保健指導を行うため、患者立脚型アウトカムについて理解する。
14	11	4	木	2	岸	患者立脚型評価とQOL(2) 保健指導における 患者の権利への配慮 (五. I-3-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・クライアントから満足を得る保健指導を行うため、患者の観点に立脚したアウトカム評価と医療情報収集情報を習得する。
15	11	11	木	2	岸	保健指導におけるEBM (五. I-3-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・有効な保健指導を行うため、EBMの方法を習得する。
16 ・ 17	11	18	木	1 ・ 2	岸 (相澤) 鈴木	保健指導法演習(1) POS (五. I-3-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・相互実習の中で実際にPOMRを作成する。
18 ・ 19	11	22	月	3 ・ 4	相澤 (岸) 鈴木	保健指導法演習(2) ロールプレイ① (五. I-3-F)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイによって、患者の物語を理解する方法を学ぶ。
20 ・ 21	11	29	月	3 ・ 4	相澤 (岸) 鈴木	保健指導法演習(3) ロールプレイ② (五. I-3-F)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイによって、患者の物語を理解する方法を学ぶ。
22 ・ 23	12	7	火	3 ・ 4	鈴木	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で得た知識を臨床で実践できるよう、総合的に理解を深める。
	12	14	火	2	相澤	定期試験	

第3学年 栄養指導法

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	医療法人 日新堂 八角病院 栄養部栄養科 中軽米 聡子 教務主任 鈴木奈津子
一般目標	歯科保健指導の一環として、歯科衛生士がライフステージ別の個人あるいは集団の人々に対し、歯科疾患・口腔機能の育成・口腔機能の維持を考慮した栄養・食生活指導をおこなう能力を身につける。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「人体の構造と機能2 栄養と代謝」(医歯薬出版) エキスパート管理栄養士養成シリーズ栄養教育論第2版(化学同人) 「オールガイド五訂増補 食品成分表2019」(実教出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	22	水	4	鈴木	概論 ・歯科における栄養指導の必要性 (八. IV-2-B、V-1-C・D)	・歯科における栄養指導の必要性和歯科保健指導を行ううえでの位置づけについて理解する。
2	9	29	水	4	鈴木	歯科疾患と栄養・1 ・オーラルフレイルと低栄養 (八. IV-2-B、V-1-D、2-D)	・オーラルフレイルについて説明できる。 ・オーラルフレイルと低栄養との関係を概説できる。
3	9	30	木	4	中軽米	現在の栄養指導 ・食育とは ・食事バランスガイド ・メタボリック症候群 (八. V-1-C・D、3-A・B)	・栄養指導の基礎について学ぶ。 ・食育について説明できる。 ・健康を維持する為のバランスの取れた食事について説明できる。
4	10	6	水	4	鈴木	歯科疾患と栄養・2 ・齲蝕と甘味料 (八. IV-2-B、V-1-D、2-D)	・齲蝕と甘味料の関係について説明できる。 ・代用糖について説明できる。
5	10	13	水	4	鈴木	歯科疾患と栄養・3 ・酸蝕 ・その他の口腔疾患 (八. IV-2-B、V-1-D、2-D)	・食事と酸蝕について説明できる。 ・口腔疾患と栄養素の関係について説明できる。
6	10	14	木	4	中軽米	疾患別栄養指導法・1 ・糖尿病 ・脳血管障害 (八. V-1-C・D、3-A・B)	・歯科疾患とかかわりの深い全身疾患に対する栄養指導法について理解する。
7	10	28	木	4	中軽米	疾患別栄養指導法・2 ・骨粗しょう症 (八. V-1-C・D、3-A・B) 嚥下障害と栄養ケアの実際 (八. V-1-C・D、3-A~C)	・歯科疾患とかかわりの深い全身疾患に対する栄養指導法について理解する。 ・摂食障害を抱える高齢者の適切な食形態について理解する。 ・NST(栄養サポートチーム)の働きについて理解する。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
8	12	1	水	4	鈴木	演習講義 1)知識の定着 2)問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・学習方法を説明できる。 ・理解した項目を身に付ける。
	12	9	木	1	中軽米 鈴木	定期試験 (筆答)	

第3学年 歯科診療補助法

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	教員 佐藤 佳奈枝 非常勤講師
一般目標	歯科医療現場において各診療のより実践的な補助に対応するため、検査・治療の手順を理解し、器材の取り扱いに習熟する。
成績評価	筆答により評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論第2版」（医歯薬出版） 最新歯科衛生士教本「歯科材料」（医歯薬出版）
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	5	月	2	佐藤	第3講義室	X線撮影における診療補助 1)放射線防護 2)口腔内撮影の補助 3)フィルムの現像と管理 (九. I-5-B、 X-1-A・B、2-A・B、 3-A、4-A~C)	・歯科治療で頻繁に使用されるX線検査について、適切な撮影補助と現像と管理ができる。
2	4	15	木	1	佐藤	第3講義室	レーザー治療 1)レーザーとは 2)レーザー装置について 3)取り扱い 4)患者への説明 (九. I-5-C)	・歯科治療で使用されるレーザー治療について、適切な撮影補助と管理ができる。
3 ・ 演	7	5	月	1 ・ 2	佐藤	第3講義室	周術期における歯科診療補助 1)周術期口腔機能管理の概要 2)病態の把握 3)治療時の対応 (六. IV-2-K、 九. V-6-A)	・周術期における口腔機能管理の概要を説明できる。 ・周術期の病態とその治療法を説明できる。 ・術前、術中、術後の歯科衛生士の対応を説明できる。
4 ・ 5	8	2	月	1 ・ 2	佐藤 非常勤講師	第1実習室	テンポラリークラウンの作製 1 1)テンポラリークラウンの種類 2)作製手順(練和法・前歯部) (九. IV-4-A)	・前歯部テンポラリークラウンの作製手順、使用器具、材料を学び、作製ができる。
6 ・ 7	9	13	月	1 ・ 2	佐藤 非常勤講師	第1実習室	テンポラリークラウンの作製 2 1)テンポラリークラウンの種類 2)作製手順(練和法・臼歯部) (九. IV-4-A)	・臼歯部テンポラリークラウンの作製手順、使用器具、材料を学び、作製ができる。
8	9	21	火	4	佐藤	第3講義室	漂白法 1)漂白法の種類 2)漂白法の手順 3)使用器具・材料 (六. II-1-F、 九. III-5-A・B)	・漂白の手順を説明できる。 ・漂白法の使用器具や材料の名称と用途を説明できる。
	12	8	水	1	佐藤	第3講義室	定期試験	

第3学年 インプラント歯科診療補助法

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	歯学部 補綴・インプラント学講座 教授 近藤 尚知 歯学部 補綴・インプラント学講座 助教 高藤 恭子 歯学部 補綴・インプラント学講座 助教 福德 暁宏 教員 太田 彩香
一般目標	口腔インプラントにおける円滑な診療補助と適切な口腔内操作をおこなう為に、インプラントの基本的知識、歯科衛生士の担う役割について学ぶ。術式に関しては、ブローネマルクスシステムについてとりあげる。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。
教科書	歯科衛生士のためのインプラントメンテナンス(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	29	水	2	近藤	1. 一次・二次手術の補助 2. 上部構造の補助 (六. III-6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 一次手術、二次手術における器具の準備と介補の方法を術式に沿って説明できる。 上部構造の介補法を術式に沿って説明できる。
2	9	6	水	2	近藤	1. インプラントにおけるメンテナンスの実際 2. 偶発症 (六. III-6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> インプラント治療におけるメンテナンスの重要性を理解し、インプラント部における注意事項、使用できる器具について説明できる。 偶発症について説明できる。
3 ・ 4	9	13	水	1 ・ 2	近藤 高藤 福德	1. インプラントにおける印象採得 (六. III-6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> インプラントの印象採得の方法について説明できる。 インプラントの印象採得に使用する器具の説明ができる。
5 ・ 7	11	8	月	1 ・ 2 ・ 3	太田	1. インプラント治療における歯科衛生士の役割 2. ブラッシング指導の実際 (相互実習) (八. III-3-B)	<ul style="list-style-type: none"> インプラント治療における歯科衛生士の役割を説明できる。 インプラント治療を希望する患者を想定しブラッシング指導を行うことができる。
8	12	10	金	1	近藤 高藤	定期試験	

第3学年 救急蘇生法

時間数	15時間 (2時間×8回)
	歯学部 口腔顎顔面再建学講座(歯科麻酔学分野) 講師 四戸豊
一般目標	歯科衛生士の業務は歯科診療補助、歯科予防処置と歯科保健指導であるが、高齢社会を迎え、合併症を有する歯科患者の数が増加傾向にある。そこで本講義では歯科衛生士として必要な全身的合併症の知識や偶発症発生時の対処と実践、精神鎮静法、局所麻酔および全身麻酔について理解することを目的とする。
成績評価	筆記試験の成績で総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	5	24	月	1	四戸	序論 救急処置に必要な基礎知識 1)呼吸の生理・解剖 2)循環の生理・解剖 3)自律神経	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科診療中に起こる全身的偶発症の概要について説明できる。 ・生命維持に必要な呼吸・循環の基礎について説明できる。
2	5	24	月	2	四戸	局所麻酔 1)局所麻酔法 2)局所麻酔薬 3)血管収縮薬 4)使用する器材 5)局所的偶発症 (六. IV-3-A、九. V-5-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種局所麻酔法と施術時の注意点を説明できる。
3	5	31	月	1	四戸	精神鎮静法 1)吸入鎮静法 2)静脈内鎮静法 3)一般的注意点 (六. IV-3-B、九. V-5-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・精神鎮静法の適応症と種類を説明できる。
4	5	31	月	2	四戸	全身麻酔 1)術前管理 2)全身麻酔法 3)術中管理 4)麻酔覚醒と抜管 5)術後管理 (六. IV-3-C、九. V-5-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・全身麻酔の適応症と種類を概説できる。
5	6	7	月	1	四戸	救急蘇生法 1)歯科治療時の全身的偶発症 2)酸素療法 3)静脈確保 4)一次救命処置 5)二次救命処置 (六. IV-5-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科治療時の全身的偶発症の概要を説明できる。 ・一次救命処置、二次救命処置の手順を説明できる。
6	6	7	月	2	四戸	口腔領域の神経疾患 1)神経痛 2)神経麻痺 3)神経痙攣 (六. IV-1-I)	<ul style="list-style-type: none"> ・顎・口腔領域の神経疾患の症状を概説できる。
7	6	21	月	1	四戸	実習 1)バイタルサイン 2)CPR 3)AED (六. IV-5-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で修得した救急蘇生法を実践できる。
8	8	23	月	1	四戸	定期試験	

第2・3学年 病院等臨床実習

時間数	760時間
担当者	岩手医科大学附属病院歯科医療センター 医師 千葉 俊美 (オリエンテーション) 岩手医科大学附属病院歯科医療センター 歯科医師 歯科衛生士 診療放射線技師 歯科診療所 歯科医師 歯科衛生士 教務主任 鈴木 奈津子 教員 佐藤 佳奈枝
一般目標	歯科衛生業務を修得するために、歯科診療の場を通して歯科衛生士として必要な知識、技術、態度を身につける。
成績評価	出席(9割以上)、実習評価を総合して成績評価とする。
教科書	
参考書	令和2年度生 臨床実習必携 令和2年度生 臨床実習帳

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標	
R2年度 実施済み	9	1	火	1	鈴木	歯科診療所実習 オリエンテーション		
	10	6	火	3・4	千葉	岩手医科大学歯科医療センター実習 オリエンテーション(全身疾患への対応)		
100	10	13	火	1	各施設 歯科医師 歯科衛生士	岩手医科大学歯科医療センター 高度先進保存科 高度先進補綴科 口腔外科 口腔総合診療科 矯正歯科 小児歯科 口腔ケア外来 口腔インプラント科 障害者歯科 歯科放射線科 歯科診療所 <実習項目> 1. 診療開始前の準備 2. 器材器具及び材料の取り扱い 3. 歯科診療補助及び介助 4. 歯科予防処置の実技及び補助 5. 保健指導の実技及び補助 6. 患者誘導及び接し方 7. 各症例ごとの前準備・後始末 訪問歯科診療・訪問歯科衛生指導実習 社会福祉法人 千晶会 千年宛 守口歯科クリニック 歯科医師 歯科衛生士	<ul style="list-style-type: none"> ・診療室のルールを理解できる。 ・医療安全管理に配慮した行動ができる。 ・感染予防(消毒・滅菌、手指消毒)対策に応じた行動ができる。 ・器材、機器および薬品の管理の方法を理解した行動ができる。 ・患者のデータ資料の管理方法を理解できる。 ・スタッフ間の連携、共同動作について理解できる。 ・各症例について概要を理解できる。 ・治療の流れを理解し、関連する技術を修得する。 ・口腔衛生指導ができる。 ・患者誘導、ライティング法、バキューム法ができる。 	
12	11	金	4					
1	12	12	火	1				
3	12	12	金	4				
R3年度								
4	1	19	月	1				
7	1	30	金	4				
8	1	24	火	1				
9	1	17	金	4				

第3学年 臨地実習 [3歳児健診]

時間数	10時間
担当者	盛岡市保健所 歯科医師 歯科衛生士 教員 太田彩香
一般目標	1) 3歳児健康診査における疾病や異常の早期発見・早期対応、幼児の発育段階に沿った育児支援や健康増進の援助、成長・発達の評価など健康診査の内容と実施状況を理解する。 2) 3歳児健康診査における歯科健診、歯科相談、歯科保健指導等で口腔内状況を把握し、実際の解決に向けた指導方法を学ぶ。 3) 地域歯科保健におけるチームの一員としての、歯科衛生士の役割や業務内容を理解する。
成績評価	臨地実技評価、レポート、実習記録、日常点を総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1				1 2	太田	3歳児健康診査 事前学習 ①保健所・市町村保健センターについて ②3歳児健康診査について ③3歳児の成長・発育について ④幼児期の歯科保健について	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所、市町村保健センターの役割について理解できる。 ・3歳児健康診査の目的、内容について理解できる。 ・3歳児の成長、発育について理解できる。 ・幼児期の歯科保健について理解できる。
2				1 4		3歳児健康診査の見学 (1) 対象者の見学 ①オリエンテーション ②健康診査 (問診・計測・小児診査) (2) 歯科健診・歯科保健指導の見学 (3) 健康診査後のカンファレンスの見学	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡市保健所における3歳児健康診査を見学し、歯科保健事業について説明できる。 ・3歳児の身体的特徴と、口腔内について説明できる。 ・3歳児に対する歯科保健指導ができる。 ・保健所の多職種との連携について説明できる。

第3学年 研究

時間数	45時間（2時間×23回）
担当者	教務主任 鈴木奈津子 教員 金子由美子 鳥畑美香 佐藤佳奈枝 太田彩香
一般目標	問題発見・問題解決を基本とした歯科に関する研究の基本的な内容を学び、実際に研究へ取り組むことにより、テーマ設定から論文作成、発表までの手法を習得する。また歯科衛生士としての研究活動の必要性を理解し、科学的思考能力を身につける。
成績評価	研究レポート、発表、日常点により総合評価する。
教科書	
参考書	「歯科衛生研究の進め方・論文の書き方 第2版」(医歯薬出版株式会社)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標		
1 ・ 2	4	15	木	3 ・ 4	鈴木 金子 鳥畑 佐藤 太田	学生の研究取り組み 1) テーマの検討 2) 作業仮説の立案 3) 参考文献調査 4) 調査研究のための指標と方法 5) 調査・研究対象の設定 6) 調査・研究項目 7) データのまとめ 8) 検定 9) 統計図表 10) 考察 11) 結論 12) 引用文献の表記法	<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマの検討から結論までの作業仮説を立案し、実際に研究を進めることができる。 ・研究データの収集と分析ができる。 		
3 ・ 4	4	16	金	1 ・ 2					
5 ・ 6	10	12	火	3 ・ 4					
7 ・ 8	10	19	火	3 ・ 4					
9 ・ 10	10	27	水	1 ・ 2					
11 ・ 12	11	25	木	1 ・ 2					
13 ・ 14	11	29	月	1 ・ 2				研究集録作成 発表用スライド作成	<ul style="list-style-type: none"> ・研究論文の原稿をまとめ、発表用の研究集録を作製することができる。 ・口演発表用のスライドを作成することができる。 ・発表原稿の作成ができる。
15 ・ 16 ・ 17	12	6	月	1 ・ 2 ・ 3					
18 ・ 19 ・ 20	12	15	水	1 ・ 2 ・ 3				研究発表会リハーサル	<ul style="list-style-type: none"> ・研究結果を適切な表現で発表できる。
21 ・ 22	12	16	木	1 ・ 2				研究発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・研究結果を口頭発表し、質疑応答ができる。
23	12	21	火	1				研究まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・研究発表会での質疑応答内容を整理し、研究のまとめができる。

第3学年 接遇

時間数	15時間（2時間×8回）
担当者	ヒットビジネスコンサルティング 及川敦子
一般目標	保健医療の現場において、組織の一員としての正しい接遇・マナーを身につけ、仕事に対して専門職としての意識を持てるようにするために、医療及び福祉における接遇の具体例を習得する。
成績評価	レポート(70%) 日常点(30%)
教科書	社会で生きる 実践 ビジネスマナー(ウィネット) 歯科スタッフのためのケア・コミュニケーション (ウィネット)
参考書	ヒット・ビジネスコンサルティングオリジナルシート集

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	10	4	月	3	及川	面接の実際－(1) 1)入室から退室までの動作の実技（ロールプレイ）	・好感を持たれる所作、受け答えができる。
2	10	5	火	3	及川	面接の実際－(2) 2)入室から退室までの動作の実技（ロールプレイ）	・好感を持たれる所作、受け答えができる。
3	10	7	木	2	及川	面接の実際－(3) 3)面接時の敬語、表現の実技（ロールプレイ）	・好感を持たれる所作、受け答えができる。
4	10	21	木	3	及川	ケア・コミュニケーションの基本的な心構え（グループワーク） 1)組織（チーム）とは何かを学ぶ 2)チームワークとコミュニケーション 3)チームの一員として仕事を進める 4)好感・信頼感を高めるコミュニケーション 5)ケア・コミュニケーションにおける声かけを学ぶ 6)相手に敬意を払う態度と表現を学ぶ	・組織について説明できる。
5	10	27	水	3			・組織内の対人関係の在り方について説明できる。
6	11	2	火	3			・情報の共有・報告・連絡・相談の重要性を説明できる。 ・患者・利用者に適切な声かけができる。 ・相手の人格・価値観の受容ができる。
7	11	9	火	3	及川	接客の実際 1)ビジネスマナー	・名刺の受け渡しができる ・来客にお茶を出すことができる。
8	11	16	火	3	及川	福祉と接遇 1)非言語表現 2)障害を持つ人への接遇 3)高齢者へのマナー レポート	・障害を持つ人への接遇を説明できる。 ・非言語表現を実践できる。 ・高齢者への接遇マナーを説明できる。 ・テーマに沿った内容を記述できる。 ・具体例を列挙することができる。 ・自分の考えを述べるができる。 ・丁寧な文字で記述できる。 ・期限内に提出することができる。

第3学年 特別講義

時間数	6時間
担当者	盛岡市子ども未来部母子健康課 歯科衛生士 主査 田頭 敦子 教務主任 鈴木 奈津子
一般目標	
成績評価	出席等をもって評価する
教科書	臨床実習帳 《 3歳児健康診査実習 》
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1					田頭	盛岡市3歳児健康診査実習 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健康診査における盛岡市保健所の役割を理解する。 ・3歳児健康診査における歯科健診・歯科相談・歯科保健指導のありかたについて理解する。 ・保健所における歯科衛生士の役割、業務内容を理解する。
			日程未定				
2	9	28	火	3 ・ 4	鈴木	行動科学(KJ法)	<ul style="list-style-type: none"> ・KJ法の手法を学ぶ。 ・グループワークにより、意見集約が出来る。

第3学年 特別講義

時間数	1時間
担当者	有限会社コーディアル 代表取締役 坪田 まり子
一般目標	コミュニケーションの意義と技法を学び、社会人として必要なコミュニケーションのあり方を学ぶ。
成績評価	出席をもって評価する
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	11	24	水	2	坪田	歯科衛生士に必要な コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・第一印象の重要性を理解できる。 ・相手を不快にさせない話し方の原則を列挙できる。 ・歯科衛生士としてのキャリアビジョンを模索できる。

第3学年 隣接医学

時間数	12時間 (2時間×6回)
担当者	歯学部 口腔医学講座関連医学分野(歯科内科学) 教授 千葉 俊美
一般目標	高齢化の進むなか、さまざまな全身疾患を持つ患者への対応が増えている。歯科医療に携わる上で患者を理解し、より良い歯科医療を提供するためには、患者の有する疾患・障害に対する知識も必要となる。ここでは、臨床において遭遇する頻度の高い全身疾患に対する基礎的な医学知識を習得する。
成績評価	客観評価
教科書	「歯科医師のための内科学」(医歯薬出版)
参考書	「ナースの内科学 改訂10版」(中央医学社)

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1・2	10	5	火	1・2	千葉	1.呼吸器疾患 2.循環器疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・気管支喘息, 肺炎, 慢性閉塞性肺疾患(COPD), 肺癌, 肺結核について理解する ・狭心症, 心筋梗塞, 高血圧, 不整脈, 心内膜炎について理解する
3・4	10	12	火	1・2	千葉	3.消化器疾患 4.内分泌・代謝疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・逆流性食道炎, 消化性潰瘍, 胃癌, 大腸癌, 肝炎, 肝硬変について理解する ・糖尿病, 脂質異常症, 骨粗鬆症, 甲状腺疾患, 副腎疾患について理解する
5・6	10	26	火	1・2	千葉	5.血液疾患 6.脳血管疾患, 神経内科疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・貧血, 白血病, 出血性素因, 血友病について理解する ・脳卒中, 認知症, パーキンソン病について理解する

第3学年 総合講義

時間数	40時間
担当者	歯学部 口腔医学講座関連医学分野(歯科内科学) 教授 千葉 俊美 医学部・歯学部 医療工学講座 教授 武本 真治 医学部・歯学部 基礎講座 担当者
成績評価	卒業単位に含まれないため希望者のみ聴講し、成績評価は行わない

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	12	21	火	2	千葉	歯科内科学1	・歯科に関わる全身疾患の客観試験に答えることができる。
2	1	11	火	2	千葉	歯科内科学1	・歯科に関わる全身疾患の客観試験に答えることができる。
3	1	18	火	2	武本	歯科材料学	・歯科材料学の客観試験に答えることができる。
4	日程未定				担当者未定	解剖学	・解剖学の客観試験に答えることができる。
5						口腔解剖学	・口腔解剖学の客観試験に答えることができる。
6						組織・発生学	・組織・発生学の客観試験に答えることができる。
7						生理学・口腔生理学	・生理学の客観試験に答えることができる。
8						病理学・口腔病理学	・病理学の客観試験に答えることができる。
9						微生物学・口腔微生物学	・微生物学の客観試験に答えることができる。
10						薬理学・歯科薬理学	・薬理学の客観試験に答えることができる。
11						口腔衛生学	・口腔衛生学の客観試験に答えることができる。
12						衛生学・公衆衛生学	・衛生学の客観試験に答えることができる。
13						口腔生化学	・口腔生化学の客観試験に答えることができる。